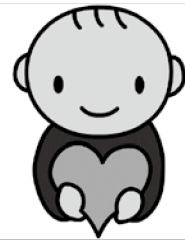


いっしょらぼ

～こころのラボレーション～



スクールサポーター
(臨床心理士)
小林 真理

自閉症スペクトラム？

自閉症のことを表しているように、「スペクトラム」ってなんだろう。耳慣れない言葉ですが、今回はその説明を通して、2013年に米国精神医学会が発表した新しい診断基準（日本での訳語発表は今年の5月末）から、自閉症スペクトラム障害（自閉症スペクトラム症）について少しふれてみます。

スペクトラム(spectrum)というのは「連続体」「範囲」といった意味をもっています。元々は光学的な用語で「目に見える光を分離すると虹のように連続して見える」ということを指しています。この境目がハッキリしていなくて虹のように連続した状態を、自閉症の程度や多様性と重ねて「自閉症スペクトラム」と言うようになったのです。言いかえると、自閉症スペクトラムは、これま

での診断基準でそれぞれ診断されていた、自閉症性障害、アスペルガー障害、広汎性発達障害などが、連続した一連の診断基準となつて「捉えなおされた」ということになりました。

新しい診断基準では「対人コミュニケーションの困難さやこだわり・繰り返し行動(常同行動)の「程度」(軽度・中度・重度)と「必要な支援の程度」を評定することによって「それぞれの障がいの状態が、どの程度日常生活に支障をきたしているか」を評定する、というものになりました。言い方に語へいがあるかもしれませんが今までの「障がいへのあてはめ型」の診断から、個々の障がいからくる支障の状態や多様性、周囲の理解と得られる支援の多様性によって自閉症スペクトラムの人をより実態に即した診断をしていく、ということになります。

また、今までは一人に対して一つの診断のみでしたが、例えば学習障害と自閉症スペクトラムという二つの診断が一人に対してつく、ということも診断基準として可能になったのです。このことから、その人の状態と支援を評定することによって、診断が単なる診断で終わるのではなく、本人や家

族・周りの人や支援者がさらに「生きやすく」なるためのものとなつていくのです。

自閉症スペクトラムの診断を受けることは、園や学校での生活・学習・就労といった日々の生活に「ハードルがある」ということを確認することになります。場合によっては、それを受け入れられない気持ちも生じることでしょう。しかし私たちの生活自体も連続したものの(スペクトラム)なのです。そのスペクトラムの中で「ハードルがどこにあるのかを理解すること、その時々適切な支援の方法を探ることができればいいですね。」

はじめたばかりの新しい捉え方ですが、本人や家族、周りにとつても「ありのまま」を受け入れる機会になつていけばいいですね。



植物園だより

植物観察会と

ギャラリートークのお知らせ
絶滅危惧植物を観察しよう

とき 9月14日(日)・28日(日)
10時30分から12時まで

講師 植物園園長
内容 絶滅危惧植物の保存活動や、見頃の植物について紹介します。

観察会終了後、展示館の見どころを解説します。

定員

各日20名
入園料のみ
小学生以上

1人1回100円
(展示館入館料含む)

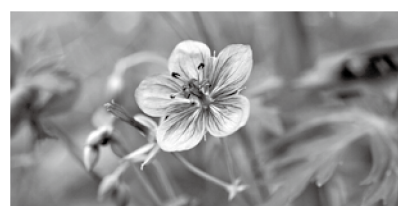
*申し込み不要

*天候状況等により時間の短縮や観察会を中止にする場合があります。

【問い合わせ】

植物園 ☎48-33337

アサマフクロ



軽井沢町追分で発見されたフウロソウ科の多年草で、今月上旬、濃紅紫色の花が見頃を迎えます。

◆9月花ごよみ

上旬

アケボノソウ、オグルマ、カリガネソウ、キレンゲショウマ、サラシナショウマ、センニンソウ、ヒゴタイ、フジバカマ、ヤマハギ

中旬

アキノキリンソウ、サクラタデ、シモバシラ、シラハギ、タマアジサイ、ノコンギク、ヒメシオン、ヤマトリカブト、ワレモコウ

下旬

アキノウナギツカミ、シラネセンキユウ、セキヤノアキチヨウジ、ヒガンバナ、モリアザミ、ミカエリソウ、ヤハズトウヒレン
(※主なものを掲載)